

【令和2年度実施計画】池田町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

No.	担当係	事業名	事業概要（効果・目的）	実績額（円）	事業始期	事業終期	実施状況（実績）	効果検証	実施計画No.
1	情報防災係	新型コロナウイルス感染症対策用品購入事業【池田町】	新型コロナウイルス感染症の感染予防として、平常時、感染拡大時、大規模災害時それぞれのステージに対応するために、職員用マスクや防護具、消毒液等の資材を確保し、有事の際に柔軟に対応できる体制を整える。	9,870,850	R2.4	R3.3	マスク 13,000枚、アルコール 36缶、クリアパーテーション 11枚、ゴム手袋 6,300枚、ヘアキャップ 1,000本、プラスチック手袋 3,500枚、透明パーテーション、非接触型体温計 26個、電子体温計 38本、霧吹き 60個、ポリシート 2本、キッチンタオル 4袋、自作マスク用バスタ 7袋、高島支所用品（透明ビニール15枚、拭き取り剤3個、使い捨てマスク100枚）、水タンク 20個、ラミネートフィルム 37箱、ラミネーター 2台、リヒトクリヤーブック 20冊、ジャンボスリッパ10足、避難所開設訓練用一式、リストバンド 300枚、使い捨て手袋、マイクローファイバークロス、ニイタカセーフコート、シューズカバー 250枚、コピー用紙A4 15,000枚、パツクルコンテナ、個人用防護具 LL 60個、個人用防護具 L 500個、個人用防護具 M 268個、フェイスシールド 210個、サージカルマスク50,000枚、消毒用ジェル 152個、消毒用アルコール 36缶、HEPAフィルター付きバキューム 3台、ビニールカーテン7か所、アクリル板バキューム1か所、新聞折込料、2Fカウンターパーテーション4台、ジェットヒーター 5台	新型コロナウイルス感染症対策に係る用品を購入し、感染症の拡大防止及び備蓄物資の整備が図られた。	1
2	林務係	林業従業者雇用維持対策事業	新型コロナウイルスの感染拡大を受け道内木工所の廃業などがあつた中で、十勝広域森林組合池田事業所においても、製材材需要の減少から、2つある製材工場のうちの1つの稼働を停止せざるを得ない状況に陥り、稼働を停止した工場勤務の従業者の雇用維持が困難となる恐れがあることから、本事業を実施し、収束後の操業に影響が出ないよう雇用維持を図る。	2,702,700	R2.5	R2.11	直接事業費+間接事業費 枝打ち 2,99千本×344,481円/千本≒1,030,000円 野風対策 4,55千本×313,626円/千本≒1,427,000円 消費税相当額 245,700円	コロナウイルス感染拡大を受けて、製材材需要の減退により、製材工場の稼働停止となり、工場従業者等の雇用維持が困難となつてしたが、枝打ち及び野風対策事業により、5月～11月中旬までの期間において雇用を維持する事ができた。	2
3	商工観光係	新型コロナウイルス感染症対策緊急支援金交付事業	新型コロナウイルス感染症による影響で、特に経営状況が厳しい町内事業者（商工会会員・非会員問わず。確定申告書にて事業活動を実施していることが確認できる個人事業主・法人）に対し、事業継続のための緊急支援を行う。	15,492,234	R2.5	R2.12	○一般分100,000円×71件=7,100,000円 ○飲食等200,000円×37件=7,400,000円 ○事務費 992,234円 ○計 15,492,234円	コロナの影響により減収となつた町内事業者の資金調達の円滑化と一定の経営支援につながつた。	3
4	商工観光係	新型コロナウイルス感染症対策可融資利子・保証料補給事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、資金繰りが悪化した町内事業者に対して、安定的な運転資金確保のため可融資制度に災害枠を設定し、利子及び保証料の全額補給を実施する。	1,348,401	R2.4	R3.3	○保証料 21件 1,140,723円 ○利子額 8件 207,678円 ○計 1,348,401円	コロナの影響により減収となつた町内事業者の資金調達の円滑化と返済財源の負担軽減を図り、経営の安定化と事業の継続を支援するための環境整備ができた。	4
5	学校教育係	就学援助受給者等に対する昼食費支援事業（令和2年2月・3月分昼食費）	新型コロナウイルス対策により小中学校が臨時休業となり、学校給食も停止したため、それぞれの家庭において昼食をとる状況となつた。臨時休業に伴う給食費の取扱いについては、生活保護世帯は臨時休業に伴う学校給食費相当額を被保護者に対して支給する取扱いとなつたため、本町の就学援助受給者及び特別支援教育就学援助受給者についても同様の取扱いとし、対象者へ臨時休業に伴う昼食費支援を実施する。	280,587	R2.4	R2.5	合計 280,587円 A:就学援助受給者分 小学生 @222円×17食×46人=173,604円（全学年） 中学生 @265円×17食×14人= 63,070円（中1・2） @265円× 9食×10人= 23,850円（中3） 計 260,524円 B:特別支援教育就学援助受給者分 小学生 @222円×17食×10人×1/2=18,870円 中学生 @265円× 9食× 1人×1/2= 1,193円（中3） 計 20,063円	新型コロナウイルス対策に伴う臨時休業期間中における家庭の食費負担を軽減することができた。	5
6	学校教育係	池田小学校網戸設置事業	網戸の少ない池田小学校において、新型コロナウイルス感染症対策として網戸を増設することにより、風通しを良くし、3密を防いで感染拡大防止を図る。	3,038,200	R2.7	R2.10	合計 3,038,200円 ※諸経費含む A:2階教室～57ヶ所 B:1階ホール～2ヶ所 C:2階図書室～2ヶ所 D:階段室～5ヶ所 E:3階特別教室～18ヶ所 F:3階廊下～4ヶ所 G:3階音楽室～12ヶ所 H:2階体育館廊下～6ヶ所 I:体育館踊り場～2ヶ所 計 108ヶ所	新型コロナウイルス感染症予防対策のため、定期的に換気を実施する必要がある各教室や廊下等において、害虫等の侵入を防ぐことができた。	6

【令和2年度実施計画】池田町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

No.	担当係	事業名	事業概要（効果・目的）	実績額（円）	事業始期	事業終期	実施状況（実績）	効果検証	実施計画No.
7	情報防災係	避難所感染対策強化及び災害対策本部機能強化事業	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための避難所における環境整備及び町民の健康管理等のために必要な資機材等の整備を行う。	18,406,690	R2.6	R3.3	段ボールベッド 201台、フェイスシールド 300枚、雨合羽 50着、長靴 50足、ペーパータオル 4箱、タオルぞうきん 1,800枚、業務用タオル 600枚、除菌用アルコールティッシュ、蓋付ごみ箱 100個、ポリ袋 2,000枚、ラップ 100箱、誘導灯 50本、キッチンハイター 29本、トイレハイター 29本、トイレブラシ 52個、クイックルワイパー 本体6個 替シート160枚、黒シダボーク、チリトリ、フローリングワイパー 本体23本 替シート23個、マスク 20枚、ゴーグル 20個、ハンドソープ 3本、体表面温度チェッカー、ワンタッチパーテーション 200張、パーテーション屋根 50張、多目的簡易ベッド 200台、ノートパソコン 15台 (情報機器のみ) テレビ会議用機器 短焦点プロジェクター 4台、インタラクティブホワイトボード（電子黒板）1台、マイクスピーカー（大人数用）1台、マイクスピーカー（少人数用）4台、WEBカメラ	新型コロナウイルス感染症対策に係る用品を購入し、感染症の拡大防止及び備蓄物資の整備が図られた。 テレビ会議用機器やプロジェクターの購入によって、コロナ禍でのテレビ会議等に対応することができ、感染症対策を講じることが可能となった。	7
8	福祉係	手作りマスク製作事業	障がい者の働く場の確保及び資金の向上と、感染症の集団感染予防が必要な町内の小中高に通う児童・生徒へ効果的にマスクが行き渡ることを目的とする。	980,000	R2.6	R2.7	町内の小中高の児童・生徒・教職員及び町外の高校に通う生徒、生活困窮者等に対し、一人当たり3枚～5枚の布マスクを配布した。 配布先内訳：町内3小学校（当時）…795枚 池田中学校…450枚 高校生…888枚 生活困窮者等…376枚	市販マスクが入手しにくい状況において、児童生徒等の感染防止対策となった。また、マスク製作を請け負った障がい福祉サービス事業所の利用者の収入の確保につながった。	9
9	情報防災係	十勝いけだ地域医療センター発熱外来設置事業	新型コロナウイルス感染症対策に係る発熱外来を設置し、公立病院として感染症対策に寄与する。	4,670,380	R2.6	R3.3	医療用救急エアレント用ウォーターウェイト 12個、シングルトイレ消臭不凍液 3本、発電機用返還ケーブル、シングルトイレ 2台、医療用救急エアレント 本体、冷房用装置、発電機、発熱外来用完全防水電源ドラムリール 3個	新型コロナウイルス感染症対策としてエアレント及び仮設トイレを設置したことで、発熱者が外来した時に隔離することができ、感染症拡大対策が図られた。	11
10	保健総務係	新型コロナウイルス感染症対策用品購入事業【十勝いけだ地域医療センター】病院事業会計繰出	新型コロナウイルスの感染リスクが高い病院での感染予防対策として、マスクや消毒液、防護具等の資材を購入し、感染リスクを低減するとともに、院内感染等の拡大防止を図る。さらに、A Iサーマルカメラを設置することにより、発熱者の院内への立ち入りを未然に防止する。なお、本事業は池田町病院事業会計に繰り出し、実施するもの。	10,318,855	R2.6	R2.12	・HEPA7487-付き空気清浄機 1台 ・HEPA7487-付きパーテーション 5台 ・個人防護具(マスク、ゴーグル、フェイスシールド、グローブ) 2,000個 ・個人防護具(帽子) 7個 ・個人防護具(手袋) 12個 ・個人防護具(フェイスシールド) 1,050個 ・サージマスク 420個 ・消毒用ジェル 42個 ・消毒用アルコール 11個 ・A Iサーマルカメラ 1台	新型コロナウイルスの感染リスクが高い公立病院での感染予防対策としてマスクや消毒液、防護具、HEPAフィルター付きの空気清浄機及びパーテーションを整備することで、感染リスクを低減するとともに、院内感染等の拡大防止が図られた。 また、A Iサーマルカメラを設置することで、発熱者が院内への立ち入りを未然に防止し、感染リスクの回避が図られた。	12
11	情報防災係	新型コロナウイルス感染症対策用品購入事業【町内診療所】	新型コロナウイルスの感染リスクが高い医療機関での感染予防対策として、マスクや消毒液、防護具等の資材を購入し、感染リスクを低減するとともに、感染症の拡大防止を図る。	2,034,040	R2.6	R3.3	個人用防護服 M 105個、個人用防護服 L 150個、エプロン 3ケース、キャップ 3個、フェイスシールド 270個、サージカルマスク 15,000枚、消毒用ジェル 36個、消毒用アルコール 4缶、赤外線体温計 3個、HEPA7487-付きパーテーション 3台	新型コロナウイルスの感染リスクが高い医療機関での感染予防対策としてマスクや消毒液、防護具、HEPAフィルター付きパーテーションを町で一括購入し、町内3診療所に配布することで、感染予防対策及び事業者の負担軽減が図られた。	13
12	保健推進係	母子保健情報の町民への周知・協力依頼事業	感染防止対策や乳幼児健診・予防接種等の母子保健サービスの実施状況などの情報について、母子手帳アプリ（子育てモバイルサービス）を導入し、地域の実情に応じて子育て世代へ情報発信する。	264,000	R2.7	R3.3	子育て支援アプリサービスシステム構築業務委託料 132,000円 子育て支援アプリサービスシステム使用許諾料（10月～3月）20,000円×6か月×1.1＝132,000円 合計 264,000円	子育て支援アプリの導入により、短時間で広範囲の対象者への情報提供が可能となり、子育て中の方の不安の解消につながった。	14

【令和2年度実施計画】池田町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

No.	担当係	事業名	事業概要（効果・目的）	実績額（円）	事業始期	事業終期	実施状況（実績）	効果検証	実施計画No.
13	子育て支援係	子育て応援商品券交付事業	学校・幼稚園の臨時休業や保育園・学童保育所などの登園自粛等による子育て世帯の経済的負担を軽減する。有効期限のある商品券で町内事業者における短期間での消費拡大を促す。	8,110,000	R2.5	R2.6	子育て応援商品券 404世帯に池田町商工会商品券を交付 8,110,000円 ・ひとり親世帯の子 20,000円×110人=2,200,000円 ・ひとり親以外の子 10,000円×591人=5,910,000円	子育て世帯の経済的負担軽減の一助になるとともに、町内事業者への支援につながった。	15
14	畜産係	「みんなて牛肉を食べよう！」事業	市場における滞留等により、牛肉の枝肉価格が下落している。地元産牛肉の良さを確認するとともに畜産農家の将来につなげるために、牛を一頭単位で購入し、施設（学校、病院、福祉施設等）へ提供し、残余分は町民へ安価にて提供する。	824,496	R2.6	R2.10	黒毛和牛・褐毛和種の牛肉を購入し、町内福祉施設・学校給食への配布及び町民への販売を行った。 【黒毛和牛】枝肉購入費609,231円 加工費112,426円 チラシ等販売諸経費67,847円 小計789,504円 【褐毛和種】枝肉購入費774,865円 加工費181,066円 チラシ等販売諸経費28,761円 小計984,692円 合計1,774,196円から、販売による収入949,700円を差し引いた824,496円を実績額として計上	町内の福祉施設や学校給食に、池田町で育った牛の肉を提供し、町内での消費喚起を図った。また、広く町民に対しても精肉・加工品の販売を行うことで消費を喚起し、新型コロナウイルスの影響により滞留していた牛肉市場の解消に資した。	16
15	商工観光係	新型コロナウイルス感染症対策消費喚起事業	外出自粛要請の結果、町内消費、特に飲食業の消費低迷がみられることから、池田町商工会と協力し、事前に登録した店で利用できる1世帯あたり5,000円相当分のクーポン券を発行・送付し、町内の消費喚起を促す。なお、クーポン利用可能店は町内に本店機能を有する事業者に限らず、地域経済の活性化を図る。さらに消費喚起を促すため、第一弾に続き、同内容にて第二弾を実施する。第二弾の利用可能店は、第一弾より店数を増やし、広く地域経済流通効果を図る。	35,999,496	R2.6	R3.3	■1回目 ○クーポン換金額 15,306,000円 ○事務費 672,644円 ○計 15,978,644円 ■2回目 ○クーポン換金額 15,696,000円 ○事務費 1,707,598円 ○計 17,403,598円 ■郵送料 ○2回分 2,617,254円 総計 35,999,496円	消費動向の落ち込みがみられた町内経済に換金額以上の消費喚起効果となり、多大な経済効果となった。	17
16	商工観光係	飲食テイクアウトメニュー宅配事業	新型コロナウイルス感染症対策消費喚起事業を実施予定であるが、高齢者など外出機会が少ない方々の利用率の向上と、収束後のライフスタイルを見据えて町内タクシー事業者のビジネスモデル構築のため、池田町観光協会と協力して町内タクシー事業者を活用してのデリバリーサービスを実施する。なお、期間をR3.3月末まで延長して実施する。	2,422,251	R2.6	R3.3	○配送事業費 1,882,700円 ○諸経費 539,551円 ○計 2,422,251円	外食機会が減少する中、職域でのランチタイムでの利用や、農村地区での利用など需要の掘り起こしとともに、テイクアウトの新しいサービスの一環として効果を上げた。	18
17	商工観光係	雇用調整助成金申請支援事業	新型コロナウイルス感染症による影響が基大である、町内事業者（商工会会員・非会員問わず。確定申告書にて事業活動を実施していることが確認できる個人事業主・法人）が雇用調整助成金の申請を行うにあたり、申請に係る社労士への費用を助成することにより、制度活用の促進と事業所の負担を軽減する。	50,000	R2.6	R3.3	○申請実績 1件 50,000円	申請時に煩雑な手間がかかるため、業者委託せざるを得ない状況で、経済的支援を実施し申請の支援を行った。	19
18	商工観光係	新型コロナウイルス感染症対策休業支援金交付事業	北海道が新型コロナウイルス感染症の影響拡大防止の観点から休業要請を行うことを想定し、その休業要請に対応し、北海道の休業関係の各種支援金の受給対象となった事業者に対し、休業に伴う経済的負担軽減を図る。	300,000	R2.6	R3.3	○申請実績 3件 300,000円	道の休業要請に対応した結果、売上減少となる、事業者を経済支援を実施することで経営支援の一助となった。	20

【令和2年度実施計画】池田町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

No.	担当係	事業名	事業概要（効果・目的）	実績額（円）	事業始期	事業終期	実施状況（実績）	効果検証	実施計画No.
19	学校教育係	就学援助受給者等に対する昼食費支援事業（令和2年4月・5月分昼食費）	新型コロナウイルス対策により小中学校が臨時休業となり、学校給食も停止したため、それぞれの家庭において昼食をとる状況となった。臨時休業に伴う給食費の取扱いについては、生活保護世帯は臨時休業に伴う学校給食費相当額を被保護者に対して支給する取扱いとなったため、本町の就学援助受給者及び特別支援教育就学奨励受給者についても同様の取扱いとし、対象者へ臨時休業に伴う昼食費支援を実施する。	329,807	R2.4	R2.9	合計 329,807円 A:就学援助受給者分 小学生 @222円×23食×35人=178,710円（池小） @222円×22食×3人=14,652円（利小①） @222円×8食×2人=3,552円（利小②） 中学生 @265円×22食×20人=116,600円（全学年） 計 313,514円 B特別支援教育就学奨励受給者分 小学生 @222円×23食×2人×1/2=5,106円（池小） @222円×22食×1人×1/2=2,442円（利小） 中学生 @265円×22食×3人×1/2=8,745円 計 16,293円	新型コロナウイルス対策に伴う臨時休業期間中における家庭の食費負担を軽減することができた。	21
20	学校給食係	学校給食関連事業者支援事業	新型コロナウイルス対策による学校の臨時休業で学校給食が停止となったことに伴い、食材等がキャンセルとなった事業者に対し、安定的に事業が継続できるよう経済的支援を行う。	200,000	R2.4	R2.7	学校臨時休業に伴う給食停止により、食材購入事業者の内キャンセル総額が200,000円以上の町内業者2社に対し、一律100,000円を支給した。	食材等のキャンセルで売上が減少した町内事業者に対し、支援金を交付することにより事業の継続を支援することができた。	22
21	管財契約係	ふれあいセンター網戸設置事業	社会福祉協議会や障害者の就労支援のための作業所が入所するふれあいセンターに網戸を設置することにより、適切に施設の換気を行いながら新型コロナウイルス感染症の感染防止を図るとともに、事業活動の継続を図る。	616,000	R2.7	R2.9	ふれあいセンターの網戸及びびれールの製作設置22か所	網戸の設置により虫の侵入を大幅に軽減でき、かつ施設全体を換気することが可能となり、感染症予防対策が図られた。	23
22	学校教育係	学校保健特別対策事業費補助金（感染症対策のためのマスク等購入支援事業）	町内3小学校・中学校に新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために、非接触型体温計と手指消毒用アルコールを購入することにより、迅速に児童・生徒の体温による健康状態を把握する。	114,000	R2.7	R2.9	合計 114,000円 ・非接触型体温計 11,000円×9個（池小3、高小1、利小2、池中3） =99,000円 ・手指消毒用アルコール 15,000円×1缶=15,000円	非接触型体温計やアルコールの購入により、コロナ禍における学校内の感染予防対策が図られた。	24
23	学校教育係	公立学校情報機器整備費補助金（学校からの遠隔学習機能の強化事業）	新型コロナウイルス感染症の発生等による小中学校の臨時休業となった場合のリモート学習において、教員や黒板・教材等を映し出すWEBカメラを利用することにより、より効果的なりリモート学習を展開する。	492,800	R2.8	R3.3	教師用WEBカメラ 12,800円×35台+税=492,800円 （池田小学校11台、高島小学校3台、利別小学校10台、池田中学校11台）	WEBカメラの整備により、新型コロナウイルス感染症等による臨時休業時においても、オンライン授業の実施をとおして、児童生徒の学びの場の確保を図ることができた。	25
24	学校教育係	公立学校情報機器整備費補助金（GIGAスクールサポーター配置支援事業）	学校におけるICT環境整備の設計や使用マニュアル（ルール）の作成などを行うICT技術者から指導・助言を受け、日々の授業やリモート授業での有効な活用を行い、スムーズな利用展開を図ることを目的として、GIGAスクールサポーターを配置する。	3,828,000	R3.2	R3.3	GIGAスクールサポーターを配置するための委託料 3,828,000円 （人件費1,435,000円、旅費60,000円、通信運搬費240,000円、雑役務費1,680,000円、管理費等413,000円）	GIGAスクールサポーターの配置により、タブレット使用マニュアルの整備、教職員向け研修動画の公開等を実施し、タブレット端末の活用促進が図られた。	27
25	学校教育係	GIGAスクール児童生徒一人一端末整備事業	GIGAスクール構想実現のための児童生徒用タブレット端末の1人1台整備と通信環境の整備。	23,483,130	R2.8	R3.3	・小中学生分端末 40,900円×363台+税=16,331,370円 （池田小学校143台、高島小学校14台、利別小学校71台、池田中学校135台） ・教師分端末 40,900円×44台+税=1,979,560円 （池田小学校17台、高島小学校3台、利別小学校10台、池田中学校14台） ・家庭通信機器整備費 985,930円 （モバイルルーター88台【内小学校用63台、中学校用25台】×8,600円+税=832,480円、クレードル45台【内小学校用34台、中学校用11台】×3,100円+税=153,450円） ・端末設定費等 4,186,270円 （端末初期設定費2,132,570円、管理コンソール運用支援ツール955,119円、フィルタリングサービス655,160円、タッチペン380,545円、ソフトウェア62,876円）	児童生徒及び教職員分のタブレット端末や、インターネット環境のない家庭への貸出し用ルーター等の整備により、新型コロナウイルス感染症等による臨時休業時においても、オンライン授業の実施をとおして、児童生徒の学びの場の確保を図ることができた。	29

【令和2年度実施計画】池田町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

No.	担当係	事業名	事業概要（効果・目的）	実績額（円）	事業始期	事業終期	実施状況（実績）	効果検証	実施計画No.
26	商工観光係	新北海道スタイル実践支援事業	新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を実践するための事業者支援策として、事業者が実施する「新北海道スタイル」に基づく感染防止対策に係る費用を助成する。	29,373,687	R2.8	R3.3	○一般枠 32件 3,117,000円 ○加算枠 67件 25,675,000円 ○事務費 581,687円 ○計 29,373,687円	新北海道スタイルの実践に取り組むことで観光のまち池田町に訪れる方や町民が安心して各店舗を利用できるようになり、コロナ過での感染対策の促進も実施できた。	30
27	商工観光係	新型コロナウイルス感染症対策プレミアム商品券発行事業	外出自粛要請の結果町内消費、特に飲食業の消費低迷がみられることから、今年度発行予定だった池田町プレミアム付き商品券に更なるプレミアムを添加することにより、町内の消費喚起を促す。	23,505,551	R2.10	R3.3	○プレミアム分 29,929,154円 ○事務費 6,076,397円 ○計 36,005,551円 うち 既存プレミアム分 12,500,000円 臨時交付金充当プレミアム分 23,505,551円	通常のプレミアム率(15%)より高い率となり、町内経済への消費喚起効果は高いものとなった。	31
28	社会教育係	文化芸術振興費補助金（田園ホール感染症防止対策事業）	町の芸術・文化施設である田園ホールの感染防止対策として、空調設備の改修等を実施し、新しい生活様式に基づいた施設環境を構築する。新型コロナウイルス感染症に対するリスクを下げるため、入場時の体表温度の測定や非接触型体温計の測定により、感染のおそれのある発熱者の確認を行うとともに、施設の空調設備を改修し、密室空間による感染防止対策を行う。	22,640,750	R2.9	R3.3	・体表温度チェッカー 265,466円×3台≒796,400円 ・非接触型体温計 5,170円×5台=25,850円 ・空調設備機器改修設計 1,870,000円 ・空調清浄機器改修工事 19,948,500円 合計 22,640,750円	新型コロナウイルス感染症対策として、本町文化施設である池田町田園ホールの公演会場の空調設備を更新することにより、空気の流れを作り三密を回避した。入場時に入場者の体温を測定することで、感染リスクの軽減に役立った。	33
29	情報防災係	テレワーク導入事業	職員のテレワーク用のパソコンを整備し、出勤者同士の接触機会を減らし、感染リスクの低減を図るとともに、「新しい生活様式」への対応に向け働き方改革を推進する。	3,162,500	R2.10	R3.3	・テレワーク用ネットワーク構築委託業務 ・テレワーク用パソコン(10台) ・ウイルス対策ソフト ・オフィスソフト ・テレワーク用モバイル回線開通・月額費用 ・テレワーク用庁舎NW受付回線開通費用 ・テレワーク用庁舎NW受付回線月額費用 当初テレワーク用モバイル回線を10回線として計上していたが、地方公共団体情報システム機構のテレワーク実証実験が開始され、当町も5台の申請が受理されたことから、端末台数は変わらないが、閉域SIM回線によるテレワーク用端末を半分の5回線とすることで、アクセスに係る回線経費を抑えることができた。	緊急事態宣言及び職員家族が濃厚接触者となった場合における在宅勤務においても、庁内のシステムを利用できることができ、今まで以上に業務の継続性が高まった。	35
30	情報防災係	防災資機材倉庫整備事業	防災資機材等の適切な保管場所の確保を目的に、浸水エリア外に防災資機材倉庫を整備する。	47,533,612	R2.10	R4.3	防災資機材倉庫建設実施設計委託業務 3,685,000円 ※地盤調査含む 防災資機材倉庫建設工事費 43,848,612円	避難所等にも感染症対策を講じる必要があるため、防災用備蓄品は、大量に購入することとなり、備蓄場所の増設が急務となった。そのため、防災資機材倉庫を建設することにより、備蓄場所を確保することができた。	36
31	企画統計係	移住定住体験住宅整備事業	新型コロナウイルス感染症に関連して、働き方や暮らし方が変わり、地方の暮らしへの関心が高まるが見込まれる。現在、市街地の移住定住体験住宅は夏期に予約が集中し、多くの希望者の利用を断っていることから、複数の住宅整備をすることで、移住体験者の来町機会を創出し、移住に向けた気運を高める。	6,582,957	R2.11	R3.3	池田町移住定住体験住宅の整備、2戸 ・旧教員住宅の改修（床・壁・建具・ユニットバス改修、換気・照明設備改修、給湯・暖房・トイレ改修、各2戸） 移住体験に係る設備備品・家事用品の整備、2戸分 ・冷凍冷蔵庫（1）、液晶テレビ（2）、全自動洗濯機（1）、オープン電子レンジ（2）、オーブントースター（2）、掃除機（2）、炊飯器（2）、2ログスコンロ（2）、ソファ（2）、ローテーブル（2）、シングルベッド（4）、シングルベッド用マットレス（4）、食器棚（2）、テレビ台（2）、カーテン（16）、カーペット（2）調理・食器類等	事業完了が令和2年度末となったことや感染拡大状況等もあり、事業実施後初年となる令和3年度の住宅利用状況は低調（2件、246日）に終わった。しかし、周知が進んだ令和3年度秋以降は問合せも増え、本事業で整備した住宅2戸を含む全4戸について令和4年度長期利用（3か月以上）が予約されるなど、移住希望者のお試し暮らし体験機会の創出につながるものとなった。	37

【令和2年度実施計画】池田町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

No.	担当係	事業名	事業概要（効果・目的）	実績額（円）	事業始期	事業終期	実施状況（実績）	効果検証	実施計画No.
32	債権係	キャッシュレス決済導入事業	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、人と人との接触機会を減らす「新しい生活様式」に基づいた地域づくりを進めるため、町税等の支払場所を分散することを目的に、コンビニ納付の導入や電子マネーなどのキャッシュレス決済の導入を行う。	16,099,600	R2.9	R4.3	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス決済等対応システム導入費用 16,099,600円（内訳） ・納付書様式設計 4,278,000円 ・プログラム導入及び改修 10,058,000円 ・テスト印刷用納付書 300,000円 ・消費税 1,463,600円 	元来、金融機関での納付しかできなかったが、コンビニエンスストアやスマートフォンによる納付が可能となったことにより、納付箇所の分散化に伴う感染リスクの低減や住民の利便性の向上が図られた。	38
33	保健総務係	町内病院持続化支援金交付事業【十勝いけだ地域医療センター】病院事業会計繰出	新型コロナウイルス感染症拡大により、感染症対策経費の増加や患者数の減少に伴い、医療収益が悪化した病院に対し支援金を交付することにより、将来に渡って地域の病院としての維持確保を図る。なお、本事業は池田町病院事業会計に繰り出し、実施するもの。	15,000,000	R2.10	R2.10	病院持続化支援金 15,000,000円	新型コロナウイルス感染症拡大の防止に係る感染症対策経費の増加や患者数の減少により、経営が悪化した十勝いけだ地域医療センターに対して、支援金を給付することにより、事業継続を支援することができた。	39
34	保健推進係・保健総務係	新しい生活様式における健康相談等物品購入事業	町民と密接した対応が必要な健康相談や育児相談を実施する際に、感染症対策を講じるために必要となる各種の物品を購入し、「新しい生活様式」に対応させた健康相談等を実施する。	1,487,310	R2.10	R3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・三つ折衝立パーテーション 6枚 ・離乳食フードモデル 24個 ・折りたたみテーブル(抗菌メラミン化粧板) 15台 ・全自動洗濯機 1台 	町民と密接した対応が必要な健康相談や育児相談を実施するため、パーテーションや抗菌性が高い折りたたみテーブル、離乳食フードモデル、洗濯機といった物品を購入することで、職員及び町民への感染予防対策が図られた。	40
35	子育て支援係	出産育児臨時支援給付金給付事業	新型コロナウイルス感染症の拡大により、不安な妊娠期間を経て出産に至ったにも関わらず、国の特別定額給付金の支給対象外となった子育て世帯に対して、町独自の経済的支援を実施する。	1,700,000	R2.10	R3.3	出産育児臨時支援給付金 対象 17人 100,000円×17人=1,700,000円	コロナ禍で不安定な妊娠期間を経て出産に至ったが、国の特別定額給付金の支給対象外となった子育て世帯の経済的支援の一助になった。	41
36	発達支援係	池田町発達支援センター感染症対策事業	保健センター内の発達相談室（3室）は、窓が1つだけで十分な換気が行えず、冬は乾燥しやすいため、加湿空気清浄機能を併せ持つ加湿空気清浄機を設置することにより、新型コロナウイルス感染症の予防を図る。	137,940	R2.11	R2.11	池田町発達支援センターに加湿空気清浄機（3台）を設置。	加湿空気清浄機を設置することで、室内における療育や相談業務に対し、安心して活動ができるように感染症予防を図ることができた。	42
37	商工観光係・財政係	新型コロナウイルス感染症対策町融資利子・保証料補給事業【基金化事業】	新型コロナウイルス感染症の影響により、資金繰りが悪化した町内事業者に対して、安定的な運転資金確保のため町融資制度に災害枠を設定し、利子及び保証料の全額補給を実施する。	4,880,000	R2.9	R8.3	特定目定基金「池田町中小企業融資利子・保証料補給基金」を創設し、下記の積算根拠に基づき4,880,000円を積み立てた。 <ul style="list-style-type: none"> ・既実行分 9件 保証料 130,000円×9件≒1,200,000円 利子 45,000円×9件×5年≒2,000,000円 ・新規実行分 3件 保証料 230,000円×3件=690,000円 利子 66,000円×3件×5年=990,000円 	コロナの影響により減収となった町内事業者の資金調達の円滑化と返済財源の負担軽減を図り、経営の安定化と事業の継続を支援するための環境整備が整った。	43
38	建設管理係	スクールバス車両内感染防止対策事業	スクールバスの運転手と乗客の間における新型コロナウイルス飛沫感染防止のため、町が保有するスクールバス全車両について、運転席の左側から後方を覆う防護スクリーンを設置する。また、車内の除菌（新型コロナウイルス対策）のため、新型コロナウイルスの不活性化が実証されているオゾン発生器を購入し、定期的な車内の除菌を行う。	474,100	R2.9	R2.12	<ul style="list-style-type: none"> ・バス用飛沫防止ビニール 25,300円×6組=151,800円（税込） ・ワゴン車用飛沫防止ビニール 25,300円×3組=75,900円（税込） ・取付費一式 9,900円×9組=89,100円（税込） ・オゾン発生器 157,300円×1台=157,300円（税込） 	利用者と乗務員の接触等を防止するため防護スクリーンを設置。またオゾン発生器による定期的な除菌を行うことにより、感染リスクの低減を図ることができた。	44
39	建設管理係	建設機械車両内感染防止対策事業	建設機械（除雪車等）の運転手と助手の間における新型コロナウイルス飛沫感染防止のため、町が保有する除雪で使用される建設機械の全車両について、運転席と助手席の間に防護スクリーンを設置する。また、運転手及び助手に対して車両への搭乗前に検温チェックを行うための非接触型体温計を購入する。	452,100	R2.10	R2.12	<ul style="list-style-type: none"> ・トラック(ダンプ)用飛沫防止ビニール 23,100円×5組=115,500円（税込） ・ショベル用飛沫防止ビニール 23,100円×7組=161,700円（税込） ・グレーダー用飛沫防止ビニール 23,100円×1組=23,100円（税込） ・取付費一式 7,900円×13組=128,700円（税込） ・非接触型体温計 7,700円×3個=23,100円（税込） 	町が保有する除雪車両の運転席と助手席の間に防護スクリーンを設置。また、運転手及び助手に対して車両への搭乗前に検温チェックを行うことにより、車内での感染リスク低減を図ることができた。	45

【令和2年度実施計画】池田町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

No.	担当係	事業名	事業概要（効果・目的）	実績額（円）	事業始期	事業終期	実施状況（実績）	効果検証	実施計画No.
40	学校教育係	学校保健特別対策事業費補助金（新型コロナウイルス感染症対応町内小中学校空調機器等整備事業）	新型コロナウイルス感染症予防のために、マスクを付けて授業を行っている児童生徒の3密とウイルス対策のため、換気機能又はウイルス除菌機能を備えた空調機器等を整備して感染症予防に寄与する。また、高島小学校には空気清浄機と生徒机用のアクリル板を整備する。	19,160,295	R2.10	R3.5	合計 19,160,295円 ・池田小学校 換気機能付冷暖房エアコン 8台（普通教室6台、特別支援教室2台） 6,745,200円 ・高島小学校 換気機能付冷暖房エアコン 3台（理科室1台、すずらんルーム1台、普通教室1台） 2,379,300円 空気清浄機6台 343,200円、机用アクリル板 59,895円 ・利別小学校 換気機能付冷暖房エアコン 7台（普通教室6台、ひまわりルーム1台） 5,837,700円 ・池田中学校 ウイルス除菌機能付冷暖房エアコン5台（普通教室3台、特別支援教室2台） 3,795,000円	・各教室等にエアコンを設置し、マスク着用により発症リスクが高まっている熱中症対策として効果があった。	46
41	情報防災係	新型コロナウイルス感染症対策用品購入事業【追加分】	新型コロナウイルス感染症の感染予防として、平常時、感染拡大時、大規模災害時それぞれのステージに対応するために、職員用マスクや防護具、消毒液等の資材を確保し、有事の際に柔軟に対応できる体制を整える。	3,738,294	R2.12	R3.3	マスク 57,750枚、アルコール（医療用） 82個、アルコール 100個、フェイスシールド 300個、オートディスペンサー付デジタルサイネージ 2台、プラスチックグローブ 900枚、水タンク 20個、スプレー 10個	新型コロナウイルス感染症対策に係る用品を購入し、感染症の拡大防止及び備蓄物資の整備が図られた。冬季の災害時に避難所等でも換気が必要なため、ジェットヒーターを使用することにより、冬季間の避難所等でも感染症対策を行うことが可能となった。	48
42	情報防災係	新型コロナウイルス感染症対策用品購入事業【非常備消防】	地域住民の安全安心の要であり、防災活動における最後の砦「公助」を担う重要な組織である池田町消防団において、迅速な健康状態把握、飛沫感染防止対応等の新型コロナウイルス感染症予防対策を強化することで、消防団員の罹患及び感染症蔓延による組織対応力低下のリスクを軽減する。	596,080	R2.12	R3.3	・モニター付サーモグラフィ式 383,900円 ・樹脂透明パーテーション 18枚 183,800円 ・隔離用ビニールシート 2本 28,380円	消防団員の災害活動中においても、新型コロナウイルス感染症による体調不良を迅速に覚知するためのモニター付サーモグラフィを導入するとともに、コロナ禍においても消防団活動を適切に維持継続していくために、消防団員のミーティング時の飛沫感染防止対策として樹脂透明パーテーションや、隔離用ビニールシートを購入した。 消防団活動における感染拡大を防止してきたことで、地域の安全安心の中核を担う消防団の機能維持を安定的に継続することができたとともに、感染症対策と消防団活動の両立を実現し、コロナ禍中においても地域防災力の更なる向上を推進することができたことで、消防体制の継続維持に大きく寄与した。	49
43	管財契約係	庁舎等執務室加湿器整備事業	災害時本部機能を有することとなる規模の大きい池田町役場庁舎等の執務室については新型コロナウイルス感染症の予防を徹底する必要がある。飛沫感染予防には換気と共に加湿を行うことが効果的であることから執務室に大型加湿器を導入する。	4,276,800	R3.1	R3.3	業務用加湿器（移動式） 9台 内訳：庁舎1階3台・庁舎2階3台・庁舎3階1台・社会福祉センター（産業振興課）1台・ブドウ・ブドウ酒研究所事務室1台	執務室内に加湿設備を設置することにより感染症予防対策が図られた。	50
44	税務係	共通納税システムデータ連携改修事業	「地方税共通納税システム」により受信する税納付データ（個人住民税【特徴】・法人町民税）をリームスに取込（消込）むためのシステム改修。近年本システムを利用した企業等の納付が増加しており、また対象税目（固定資産税・軽自動車税）についても拡大予定である。新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、税納付のオンライン化を推進するとともに、効率的にデータを取り込める環境を整備することで職員間の不要な接触の機会を減らす。	1,056,000	R3.2	R3.3	共通納税システムデータ連携改修費	税納付のオンライン化により、業務効率向上や職員間での接触機会の減により感染リスクの低下が図られた。 共通納税徴収実績 個人住民税（特徴）：104件 2,185,200円 法人住民税：9件 2,241,300円	51
45	高齢者支援係	新型コロナウイルス感染症包括支援補助事業【介護事業所】	高リスクである要介護高齢者の利用する介護事業所において、新型コロナウイルス感染症対策かかりまし経費を助成することで感染症の拡大を防止する。	7,923,000	R2.12	R3.3	2事業所に交付 ・1,400,000円×1件 ・6,523,000円×1件	コロナ対応で増加している介護サービス事業の負担を軽減し、事業の安定的供給体制を維持した。	52
46	保健総務係	保健センター集団検診室空調機器整備事業	夏場の高温期に新型コロナウイルス感染症の拡大防止と感染リスクを低減し、保健センター集団検診室の換気を適正に行いながら室内温度を適正に保つため、換気機能付き冷房設備を設置し、利用者の安全と施設環境の改善を図る。	6,677,000	R3.1	R3.8	・実施設計委託料 968,000円 ・工事請負費 5,709,000円	池田町保健センターの集団検診室及びホールに空調設備（エアコン）を計4台設置し、利用者の安全と公共施設の感染症予防対策が図られた。	53

【令和2年度実施計画】池田町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

No.	担当係	事業名	事業概要（効果・目的）	実績額（円）	事業始期	事業終期	実施状況（実績）	効果検証	実施計画No.
47	学校教育係	池田小学校保健室隔離スペース用カーテン取付事業	保健室での新型コロナウイルス感染症の児童同士の感染を防ぐため、2箇所の出入り口を使用し、保健室内をカーテンで仕切ることにより2つのゾーンに分けることができ、感染症が疑われる児童を保護者が来るまで他の児童と分けて待機させ、感染の拡大を防止する。	155,705	R3.2	R3.3	合計155,705円 池田小学校 保健室に設置 ・カーテンレール1か所 ・抗菌カーテン一式	カーテン設置により、感染症が疑われる児童が待機するスペースを確保することができた。	54
48	情報防災係	新型コロナウイルス感染症対策用品購入事業【研究所】	池田町ブドウ・ブドウ酒研究所は、公共施設でありながら池田町における重要な観光拠点であることから北海道内をはじめ、北海道外からの来場者も多く来ることが見込まれる施設である。そのため、各種対策の行うために十分な消耗品等の購入及び活用をすることで安心安全な施設運営を行うことを目的とする。	1,235,370	R2.5	R3.3	アルコール：5L*3本+17L*16缶、アルコールハンドジェル：15本、オートディスプレイ（手指消毒）：8台、ハンドソープ：ボトル17本+詰替22本、ペーパータオル（35包入）：30箱、ペーパータオルケース：18個、ゴミ箱（ペーパータオル用）：10個、ニトリル手袋：100枚入*72箱+200枚入*15箱、フェイスシールド：30個、マウスシールド：7個、マスク（50枚入）：20箱、非接触体温計：6個、ヘッドセット：2個、PCスピーカー：2個、Webカメラ：カメラのみ*3個+ヘッドセット付*3個、モバイルパソコン：1台、アクリル板（飛散防止）：9枚、簡易マスク作成用品：ゴム紐36包+バンド7足+キッチンタオル（2巻）19包、抗菌コーティング剤：5L*4本、スプレー容器（消毒液噴霧用）：13個、アルコール充填用品：灯油ポンプ1個+アルミ漏斗1個+タライ1個、加温器：1台、二酸化炭素濃度計：3台、噴霧器（コーティング剤散布用）：1個	非接触体温測定機の導入や衛生物品の購入を補助したことで、重要な観光拠点での感染予防取組の推奨並びに来場者への感染予防対策が図られた。また、ICT機器の購入により、インターネットを活用したオンライン会議が可能となり、接触機会の低減や業務の効率化等に一定の効果をおよぼすことができた。	55
49	子育て支援係	学童保育所空調機器整備事業	学童保育所に換気機能付きの空調機器（エアコン）を整備し、冬期においては室内温度をできるだけ低下させずに換気を行うことにより密閉状況となることを防止すること、夏期においては室内温度を一定以下に保つことによりマスク着用による熱中症を予防することにより、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減し、感染拡大防止を図る。	3,410,000	R2.12	R3.2	学童保育所換気機能付冷暖房エアコン設置 3,410,000円 池田学童保育所 1クラス×1台×2クラス 利別学童保育所 1クラス×1台×1クラス	学童保育所の3つのクラスに1台ずつ換気機能付きの空調機器（ルームエアコン）を設置することで、一年を通じ換気を行いながら適正な温度を保った保育環境となり、新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減が図られた。	57
50	情報防災係	給食費収納キャッシュレス決済導入事業	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、人と人との接触機会を減らす「新しい生活様式」に基づいた地域づくり及びキャッシュレス決済を推進することを目的に、給食費の支払いについて、コンビニ納付の導入や電子マネーなどのキャッシュレス決済の導入を行う。	3,281,740	R3.2	R4.3	学校給食費管理システム導入委託費	令和3年度に整備を完了し、令和4年4月より、コンビニ及び一部のQRコード決済に対応することができた。これにより支払いしやすい環境となっただけでなく、支払い場所が分散されたことにより、感染拡大の予防にもつながっている。	58
51	学校教育係	学校保健特別対策事業費補助金（学校における感染症対策用品等購入事業）	新型コロナウイルス感染症リスクを最小限にしながら、円滑に教育活動を継続するため、飛沫防止のアクリル板等の消耗品や加湿器、デジタルサイネージやサーマルカメラといった自動体温測定器の備品を購入する。 また、映像を使った授業の際、普通教室ではテレビが小さいため、児童が前に集中して密になっていることから、広い特別教室にて授業が行えるよう、大型のテレビモニター及びプロジェクターを利用し、児童同士が広がって授業ができるようにし、三密を避ける。	3,356,403	R3.2	R3.3	合計3,356,403円 池田小 ①消耗品(アクリル板他)236,250円+②備品(サーマルカメラ)600,600円=836,850円 高島小 ①消耗品(アクリル板他)237,532円+②備品(デジタルサイネージ)591,800円=829,332円 利別小 ①消耗品(アクリル板他)300,096円+②備品(60型モニター、プロジェクター、加湿器)555,940円=856,036円 池田中 ①消耗品(アクリル板他)242,385円+②備品(デジタルサイネージ)591,800円=834,185円	学校における感染症対策や学びの保障に必要な各種物品の調達等を行い、感染拡大防止と学びを保障するための環境整備が円滑に進んだ。	59
52	商工観光係	新型コロナウイルス感染症対策飲食等緊急支援金事業	新型コロナウイルス感染症拡大による、年末年始の忘新年会などの各種会合の中止、国の緊急事態宣言や北海道の集中対策期間における外食の自粛ムードの高まりを受け、大きな影響を受けている町内事業者(飲食店・宿泊事業者及び飲食料品取扱事業者※基準日に事業活動を実施し今後も活動することを確認できる個人事業主・法人)を支援する。	19,200,000	R3.2	R3.3	○飲食事業者 500,000円×26件 13,000,000円 ○宿泊事業者等 200,000円×31件 6,200,000円 ○計 19,200,000円	コロナの影響が長期化していく中で、年末年始の需要期に営業内容の縮小による機会損失が著しかった飲食・宿泊及び関連業界に対して支援を実施することで、経営支援のバックアップ効果が図られた。	61

【令和2年度実施計画】池田町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

No.	担当係	事業名	事業概要（効果・目的）	実績額（円）	事業始期	事業終期	実施状況（実績）	効果検証	実施計画 No.
53	情報防災係	テレビ会議システム導入事業	コロナ禍でテレビ会議の頻度が増大しており、パソコンが無くテレビ会議に参加できない、兼用している既存業務でパソコンが使用できない等の支障が生じているため、テレビ会議専用の機器を購入する。	1,106,281	R3.3	R3.9	テレビ会議システム機器 ・デスクトップパソコン 3台 ・モニター 3台 ・モニタースタンド 3台 ・車上スピーカー 3台 ・WEBカメラ 3台 ・HDMIケーブル 3本 ・officeソフト3本 ・ウイルス対策ソフト3本	コロナ禍におけるテレビ会議が増えており、会議時間が重複しテレビ会議での参加ができなかったが、本事業で導入した機器を活用することで、参加できない問題が解消され、テレビ会議の利用率が向上した。	62